

フォーバルグループの 株式会社アベヤスが 岩手県の水沢信用金庫と業務提携を締結

～課題の可視化と伴走支援で中小企業の多様な経営課題を解決～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る FORVAL』を理念に掲げる、次世代経営コンサルタント集団である株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）のグループ会社である株式会社アベヤス（本社：岩手県北上市、代表取締役社長：橋本 竜博）以下「アベヤス」）は、水沢信用金庫（本店：岩手県奥州市、理事長：及川 和男）と業務提携を2025年6月9日に締結しました。アベヤスは業務提携を通じて、中小企業が抱える多様な経営課題の解決と、それを支える手段としての経営のDXの推進を伴走型で支援してまいります。



水沢信用金庫

ABEYASU

業務提携の背景

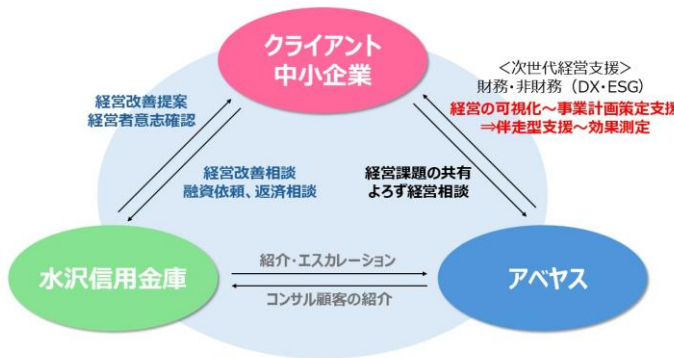
現在、胆江地区（奥州市、金ヶ崎町）の中小企業は、収益力の改善、人手不足への対応、業務のデジタル化による効率化など、複雑かつ多様な経営課題に直面しています。これらの課題を社会全体の重要なテーマと捉え、アベヤスと水沢信用金庫は、中小企業の収益力向上を喫緊の課題と位置付け、取り組みを進めています。

こうした背景のもと、地域企業との深い信頼関係を築いてきた水沢信用金庫と、経営支援における専門的なノウハウを有するアベヤスは、域内企業の持続的成長と地域の経済活性化を目的として、協力体制の構築に合意しました。

業務提携の内容

今回の業務提携により、株式会社アベヤスと水沢信用金庫は、地域の中小企業が抱える人手不足対策やデジタル化による業務効率の改善といった経営課題に対し、収益力の向上を目的とした支援体制を構築します。

水沢信用金庫が地域企業との日常的な接点を活かして課題を抱える企業をアベヤスに紹介し、アベヤスは経営コンサルティングの専門性を活かして、伴走支援型のアプローチにより、課題の可視化から解決までを一貫して支援します。この取り組みを通じて両者は、中小企業の健全経営と胆江地区の経済活性化に貢献し、持続的な成長を支える地域モデルの構築を目指してまいります。



株式会社アベヤスについて

アベヤスは、創業1923年7月1日から100年にわたって、地域の企業や学校、自治体の皆様に、オフィス環境に必要とされる価値として商品・サービスを提供し続けてまいりました。ICT、IoTの導入・利活用促進からDX、GX、SDGsに対応した次世代のオフィス内装やオフィス家具・OA機器・事務用品などの販売、働き方のコンサルティングを行っています。地球にやさしい製品・サービスとデジタル技術を駆使した、地域社会やお客様が求める安心安全な働く場、健康経営を促進するための「働く」「環境配慮型経営」の見える化、その分析による働く環境や経営の改善のお手伝いいたします。

これからは、岩手県の中小企業に向けた情報通信機器の提供からそれらの活用支援を行い、企業利益に貢献していきます。これまでのモノの提供ではなく、デジタル化支援・DX化支援によって、経営改善や利益貢献、事業継承などのこれからの時代に沿った支援を展開していきます。

■会社概要

社名：株式会社アベヤス

代表：代表取締役社長 橋本 竜博

設立：昭和43年9月18日（創業：大正12年(1923年)7月1日）

所在地：岩手県北上市本通り3-3-9

URL：<http://www.abeyasu.co.jp/>

株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団であるフォーバル（資本金：41億50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>